

平成20年度 学校経営計画書及び自己評価計画書

石川県立金沢北陵高等学校

学校長 亀田 孝太郎

1. 教育目標

- ① 社会の変化に主体的に対応できる資質や能力を身につけた創造性豊かな人間を育成する。
- ② 生徒一人ひとりの個性を最大限に伸長させ、生涯にわたって継続的に学習する意欲や態度を育成する。
- ③ 自己の進路への自覚を深め、積極的な判断力と実践力を備えた心豊かな人間を育成する。

2. 中・長期的目標

(1) 学校の現状

- ① 遅刻・欠席の減少に向けて取り組んできた。基本的生活習慣に欠け、規範意識の希薄な生徒が増加している。
- ② 総合学科高校として生徒一人ひとりに応じた学力の充実が求められている。
- ③ 多様な進路実現に向け、進路行事の充実、「産業社会と人間」・「総合的な学習の時間」を通じてキャリア教育の充実に努めている。
- ④ 本校の部活動加入率・継続率は低下傾向にある。そこで日常の諸会議の開始時刻を遅らせ指導時間の確保をし、各種大会等の参加を奨励している。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

- ① 基本的生活習慣を確立し、節度ある生活態度の育成を図る。
- ② 生徒一人ひとりに応じたきめ細かい学習活動を行い、学ぶことの楽しさや成就感・達成感を得る活動をさせる。
- ③ 主体的に学習に参加する態度を養い、自らの能力・適性を見出し、望ましい職業観を形成させる。
- ④ ホームルーム活動、生徒会活動、部活動、読書活動、ボランティア活動の充実を図る。

(3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方に関する中・長期的目標

- ① 総合学科である本校の教育理念の充実に向け、全教職員が一致した組織的な学校運営に努める。
- ② 各教科の専門性を高めるとともに、生徒の学習意欲の向上のために絶えず授業の工夫・改善を図り、教職員の資質向上に努める。
- ③ 地域社会との連携を深め、保護者・地域住民から信頼され、期待される学校を目指す。

3. 今年度の重点目標

- ① 遅刻・欠席を減らす、服装容儀を整えるなど基本的生活習慣の一層の確立を目指す。
- ② 少人数授業の特徴を最大限に活かした授業改善に努め、生徒一人ひとりに応じた学力の向上を図る。
- ③ 生徒一人ひとりの進路の実現に向けて、系統立てたキャリア教育を推進する。
- ④ 活気のある北陵高校を目指すために、部活動の積極的な加入・活動を推進する。